

2011年3月2日

2010年度上期分として

温室効果ガス2,875 トン分のカーボンオフセットを実施

国内外のCO₂削減プロジェクトや国内の森林吸収プロジェクトにより創出された排出権を活用！

2010年度上期実施件数は約20万件、2009年度下期比20%増！

日本興亜損害保険株式会社(社長 兵頭 誠)では、お客様の温室効果ガス排出量削減を支援するため、2008年度9月より、業界でいち早く保険商品・サービスに関連したカーボンオフセットを実施しています。

この度、2010年度上期分として、「発展途上国における風・水力発電プロジェクトにより創出された排出権」、「日本国内の中小企業等が削減した温室効果ガス削減量に基づいて創出された排出権」および「日本国内の森林管理等により森林が吸収した温室効果ガス吸収量に基づいて創出された排出権」を3種合計で2,875トン分取得し、カーボンオフセット手続き(排出権の取得および日本国政府への無償譲渡等)^{※1}を実施しましたのでお知らせいたします。

※1 オフセット手続きについては、株式会社リサイクルワンを通じて行っています。(別紙「カーボンオフセット証明書」参照)

このカーボンオフセットを付帯した保険商品・サービスは、2008年9月より実施していますが、今回の手続き分を加えたオフセットの累計は**7,654トン**となります。

これは**東京ドーム約210個分^{※2}**の**スギ森林**が1年間に吸収するCO₂に相当します。

※2 1980年生のスギ人工林1ha当たりのCO₂吸収量を年間7.8トンとして試算(出典:林野庁ホームページ)

■2010年度上期分のカーボンオフセット実施内容

【オフセットの実施件数】

対 象	環境貢献効果	実施件数	2009年度 下期比
自動車保険(Eco-Net 約款・Web 確認)	紙の省資源化	168,270 件	125.3%
樹脂バンパー補修、エコパーツ活用	修理部品の省資源化	29,920 件	100.8%
	合計	198,190 件	120.9%

* オフセットの対象の詳細については、末尾の「カーボンオフセットの対象」をご参照ください。

【オフセットした温室効果ガス排出量】

2,875トン (排出権取得に要した費用:9,909,500円)

*実施件数 198,190 件 × 50 円/件 = 9,909,500 円

【今回のカーボンオフセットに使用した排出権の内訳】

＜発展途上国の排出権＞

排出権種別	CER※3	CER※3	CER※3
国連登録番号	0243	0750	0042
プロジェクト名	RSMMLによるインド、ラジャスタン州ジャイサルマーにおける14.8MW小規模グリッド接続	インド、ケー.エム.電力有限会社によるグリッドシステムのための11.3MW再生可能エネルギープロジェクト	Lafargeセメント工場に対するTetouan風力発電プロジェクト
実施国	インド共和国	インド共和国	モロッコ王国
プロジェクトタイプ	風力発電	水力発電	風力発電
今回のオフセット量	1,000トン (プロジェクト全体の予定削減量は133,520トン)	475トン (プロジェクト全体の予定削減量は211,980トン)	1,000トン (プロジェクト全体の予定削減量は200,557トン)
プロジェクト風景			

＜日本国内の排出権＞

排出権種別	国内クレジット※4	J-VER※5	J-VER※5
プロジェクト番号	0071	0022	0003
プロジェクト名	森林バイオマスを利用する地球に優しい大隅うなぎ養殖事業	三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト	森林管理プロジェクトI(宮崎事業区山瀬地区)
実施国	鹿児島県	三重県	宮崎県
プロジェクトタイプ	省エネルギー	森林整備	森林整備
今回のオフセット量	300トン (プロジェクト全体の予定削減量は2,409トン)	66トン (プロジェクト全体の予定吸収量は6,974トン)	34トン (プロジェクトの年度平均吸収量見込は1,795トン/年※6)
プロジェクト風景			

※3 CER(Certified Emission Reduction):国連で認証された発展途上国との共同事業であるCDM(Clean Development Mechanism)で削減した温室効果ガス削減量に基づいて創出された排出権。

※4 国内クレジット:国内の中小企業等が削減した温室効果ガス削減量に基づいて創出された排出権。

※5 J-VER(Japan-Verified Emission Reduction):国内の森林管理等により森林が吸収した温室効果ガス吸収量に基づいて創出された排出権。

※6 オフセット・クレジット(J-VER)制度のホームページ上に、プロジェクト全体の予定吸収量の記載がないため、記載のある年度平均吸収見込量を記載しています。

【カーボンオフセットの対象】

弊社は、保険商品・サービスを通して環境保全の重要性を広く社会に伝え、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様の環境配慮行動(紙の省資源化や修理部品の省資源化など)を促していきたいと考えており、2008年9月よりカーボンオフセットを付帯した保険商品・サービスを実施しています。

お客様が以下のいずれかのプランをご選択された場合は、弊社が1件につき50円を負担して国連認証の再生可能エネルギーのプロジェクトなどから生成される排出権を購入(カーボンオフセット)していません。

① 自動車保険「Eco-Net 約款」「Web 確認」カーボンオフセット

インターネットで保険約款などをご確認いただくペーパーレスのプランです。

「Eco-Net 約款」は保険約款を、「Web 確認」は保険証券および保険約款を紙により交付しない代わりにインターネットでご確認いただけます。

② 保険事故対応カーボンオフセット

車両保険事故の車両修理時に、環境にやさしい樹脂バンパー補修やエコパーツ(リサイクル部品)の活用を推進しています。

* オフセットの対象は、保険のWeb申し込みおよび保険事故対応業務において排出するCO₂量としていますが、実際にオフセットする量は前記のとおり1件につき50円の定額としています。したがって、オフセットの対象から排出されるCO₂の算定結果に基づき実施しているものではありません。なお、カーボンオフセットの仕組みについては、弊社ホームページをご参照ください。
(http://www.nipponkoa.co.jp/environment/carbon_off_set.html)

以上

【ご参考】

■ オフセット以外の環境貢献効果

(CO₂換算)試算値 2,583トン (2008年9月より累計)

* 紙の省資源化による効果は、実際に削減される印刷物重量から弊社で試算した概算値。
また、樹脂バンパーおよびエコパーツ活用の効果は、社団法人日本損害保険協会のホームページに掲載のデータをもとに弊社で試算した概算値。

■ 自動車保険に「エコマーク」を取得しています

弊社の自動車保険「カーBOX」、「SIP」は、環境性能の高い自動車の普及を推進する「エコカー割引」や紙の消費削減を促進する「Eco-Net 約款」「Web 確認」、「エコ安全ドライブ」の推進や事故防止・安全運転に関する情報提供、および事故時の樹脂バンパー補修やエコパーツ活用の推進などを通じて環境負荷を低減する仕組みが評価され、財団法人日本環境協会より「エコマーク」の認定を取得しました。



Carbon Offset Certificate

カーボンオフセット証書

リサイクルワン・プロトコルに基づいて、下記の通りカーボンオフセットが完了したことを証します。

日本興亜損害保険株式会社

発行番号：14-4133-0003

証書発行日：2011年2月28日

オフセット量：CER 2,475 t CO₂e, J-VER 100 t CO₂e, 国内クレジット 300 t CO₂e

オフセット対象：保険事故対応業務および保険のWEB申し込みにおいて排出するCO₂

排出削減クレジット：CER, J-VER, 国内クレジット

削減プロジェクト：
[CER]
①Lafarge セメント工場に対する Tetouan 風力発電プロジェクト (国連登録番号 0042)
②RSMML によるインド、ラジャスタン州ジャイサルマーにおける 14.8MW 小規模グリッド接続 (国連登録番号 0243)
③④インド、ケー.エム.電力有限会社によるグリッドシステムのための 11.3MW 再生可能エネルギープロジェクト (国連登録番号 0750)
[J-VER]
⑤住友林業株式会社社有林管理プロジェクト I (宮崎事業区山瀬地区) (クレジット認証番号 0003001)
⑥三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト (クレジット認証番号 0022001)
[国内クレジット]
⑦森林・付加価値を利用する地球に優しい大隅うなぎ養殖事業 (排出削減事業番号 00071)

シリアル番号：
①MA-000-000-000-025-113~MA-000-000-000-026-112
②IN-000-000-032-200-475~IN-000-000-032-201-474
③IN-000-000-039-407-032~IN-000-000-039-407-056
④IN-000-000-039-407-057~IN-000-000-039-407-506
⑤JP-200-000-000-002-081~JP-200-000-000-002-114
⑥JP-200-000-000-026-145~JP-200-000-000-026-210
⑦JP-00071-281~JP-00071-580

無効化方法：
CER：日本国政府の償却口座に移転
J-VER：環境省のカーボン・オフセット用無効化口座に移転
国内クレジット：国内クレジット認証委員会の償却口座に移転

無効化完了日：①②④⑤⑥⑦2011年2月24日, ③2011年2月28日

制約条件：なし

本証書は、株式会社リサイクルワンが自主的に定める「リサイクルワン・プロトコル」に基づいて、上記の通り適正にカーボンオフセットが完了したことを証すものです。「リサイクルワン・プロトコル」は、リサイクルワンのカーボンオフセット業務に係わる手順を規定するもので、英国カーボンニュートラル社のプロトコルを基に、日本国政府が公開する各種ガイドラインに則って規定されています。またその内容、およびリサイクルワンのカーボンオフセット業務がプロトコルに則って執行されている事実について、定期的に第三者機関の審査を受けることで信頼性・客観性を高めています。

温室効果ガス排出量の増加により、急速に地球温暖化が進行しています。市民、企業、行政等の社会構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、カーボンオフセットに取り組むことで、より効果的な地球温暖化対策が可能となります。



株式会社
リサイクルワン
RECYCLE
ONE

株式会社リサイクルワン 東京都渋谷区渋谷3-10-13
Recycle One, Inc. 3-10-13, Shibuya, Shibuya-ku, Tokyo, Japan.

www.recycle1.com